

玉置之巨杉



発行 玉置神社
令和5年2月1日
電話 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429
〒647-1582
奈良県吉野郡
十津川村玉置川1

祭典のご案内

- 「祈年祭」二月十七日
- 「三柱神社初午祭(例祭)」三月一日
- 「出雲大社教玉置教会春季祖霊祭」三月春分の日
- 「白山社例祭」五月六日
- 「玉石社例祭」五月十三日
- 「出雲大社教玉置教会例祭」五月十四日

「玉置神社の現況並びに令和の大改修進捗状況等について」

皆様、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和五年も早一カ月以上過ぎました。私自身、あまり過去を振り返るタイプではないのですが、昨年度は大変大きな事件がありました。新型コロナウイルス変異株の発生と蔓延、ロシアのウクライナ侵攻です。現在も依然としてコロナウイルスは衰える兆候がなく、ロシアのウクライナ進攻も未だ終息する気配はありません。そのうえ侵攻等で、世界的な物価高が続いており、我々の生活も大変苦しくなっています。現在の現状があります。

私は玉置の大神と向かい合う際、いつも大神に尋ねております。「一体大神は我々人間に何を科しているのですか。そして、神様の御意思は何でしょうか」と。

本当に今年こそ平和な世界になりますように心よりお祈りするばかりでございます。

さて、この紙面をお借りして、玉置神社の現況並びに「令和の大改修」の進捗状況等について、ご報告させていただきます。

たきます。

令和以降、玉置神社の参拝者数は大幅に増加しております。昨年コロナ禍にも関わらず、前年より増大しております。その大きな理由として、パソコン及びスマホの普及並びに神職及び職員のためまぬ努力の賜だと自負しております。

また、令和二年に立ち上げました「令和の大改修」も大変順調に進んでおり、北は北海道、南は沖縄まで多くの人々のご賛同を得て、多くのご奉賛



金を頂戴しております。令和三年度から始まりました「社務所」の改修は、精密な写真撮影が完了したところですが、五年度には、資材搬送のモノレールが設置され、足場が組まれる予定です。そして、屋根の覆いが建設され本格的な改修が始まる計画です。

「社務所以外」については、社務所横の「鐘楼」解体が五月上旬に完了し、水の神「真名井社」の建替も七月下旬に完了しました。

「社務所」の大改修が終われば、「神楽殿」「本殿」「出雲社」「三柱社」の大改修を引き続き実施しなければならず、気が遠くなりますが、着実に一步一步やり遂げて行かなければならないと気を引き締めております。

私は、玉置神社は本当に凄い神社だと思っています。

樹齢三千年といわれる「神代杉」を筆頭とする「杉の巨樹群」の中にひっそりと佇む玉置神社、「本殿」の主祭神は、日本書紀に出てきます最初の神「国常立」の神様です。境内には、神仏混淆の名残である国の重要文化財「社務所」があり、世界遺産である「大峯奥駈道」を山頂のほうへ登って行く、修験道の聖地といわれる「玉石社」があります。山頂からは海が見え、沖

見地蔵」が祀られています。これほど凄い神社が他にあるでしょうか。「パワースポット」という言葉では表現できない荘厳な雰囲気を持っている神社だと思えます。だからこそ、しっかりと後世に残していく責任があるのです。そして、この改修を完全・確実にやり遂げる必要があるのです。改修期間中は皆様にご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

我々は知らず知らずのうちに罪・穢れを、そして沢山のストレスを抱えてしまっています。時には玉置神社に参拝して戴き、心身共にリフレッシュして戴ければ大変嬉しく存じます。

最後になりますが、皆様方の益々のご発展・ご活躍・ご健勝を心よりお祈りいたします。

今後とも引き続き玉置神社のこと、宜しくお願いいたします。

玉置神社宮司 舛谷 武



「大日堂社大祭」

八月八日(月)



天候に恵まれた上に、コロナ禍を感じさせない程の盛況となりました。

大祭に奉仕した廣田(三重県紀宝町在住)さんの投稿です。

『今年も大日堂社例祭に続き、採燈護摩に参加させていただきました。導師から護摩へのお話をいただいた日

から緊張と喜び、感謝の気持ちで一杯でした。日毎に身の引き締まる思いが膨らみました。前年まではかんまんを着ての参加でしたが、今年は初めて鈴懸を着ることになり更に緊張感が高まりました。「とにかくやるんだ」と思う間もなくとうとう当日がやってきました。

天候にも恵まれ、神聖な場所と気のこもった空気感とで体が熱くなってきました。導師の鋭い眼差しで採燈護摩が始まりました。結果の中に入る前は、緊張が解けず焦るばかりでした。しかし、結果の中に入り大日堂の前に立つと不思議と気持ち湧き上がってきました。どんな意識が集中し、皆様からお預かり

した護摩木を大切に焚き上げさせていただこうと一心に活動していました。

いつのまにか緊張がなくなり、共に想い、願い祈る思いを体感しました。とても

も素晴らしい時間でした。このような体験をさせていただいた事やご縁に心から感謝しています。神社の皆様、参拝者の皆様本当に有り難うございました。』

参拝者の皆様、授与所や本殿前で護摩木をお供え戴きますと、毎年八月八日に、写真の如く導師様をはじめとする仏師の皆様が丁重にお焚き上げをしてくださります。

神職によるお祓いの後、護摩に点火されるまでの仏事や点火後の儀式は心改まる厳肅なもので、今年もその御煙は莊嚴のうち昇天されました。



「秋の例祭」十月二十四日(月)

午前九時三十分、境内に参列者はじめ多くの参拝者が見守る中、舂谷宮司以下祭員及び責任役員・総代が斎庭の祓所に参進しました。

修祓により身を清めた後、本殿の座に著きま

した。



大太鼓の報鼓が境内に響き、厳肅な空気の中で例祭が始まりました。

宮司一拝により祭員や参列者が心を一つに神前に拝礼する姿には、今年の例祭が通年の形に戻りつつあることに喜びを噛み締めている様子が見え、より丁重に合掌し頭をお下げになる姿が印象的でした。

宮司の祝詞奏上では、神様に人々の「感謝と祈り」の言葉が唱えられ更に、弓神楽の奏舞により御神



威が高められました。

今年、参拝者全員に玉串拝礼が許され、コロナ禍やウクライナ情勢等の重苦しい現況からの回復の願いも重なり、お一人お一人厳肅な面持ちで玉串が奉奠されていました。そして、例祭に

引き続き、『神幸の儀』『還幸の儀』が齋行されました。

神様が年に一度本殿から御旅所にお出掛けになられます。舂谷宮司が鄭重に「御」を捧持し、御旅所に渡御されました。

その後、ご無事に還御され本殿に入御されました。

神様は、あの御旅所から村を見下ろされ、人々に多くの幸いを与えてくださったことでしょう。

規模は縮小されましたが、神様に喜んでいただく神賑行事も齋行され、御神徳が益々高まる例祭となりました。



「山の神・山林労働安全祈願祭」
及び鳥居奉献

十二月七日(水)



「山の神様」として親しまれる大山津見神(おおやまつみのかみ)。この呼び方は『古事記』によるものですが、『日本書紀』では大山祇神と記されています。神話では、伊弉諾

(いざなぎ)・伊弉冉尊(いざなみのみこと)の子、また、木花開耶姫(このはなさくやひめ)の父として語られる神様です。山を持ち、司る神様と言われ、山津持(やまつもち)とも語られています。

本社の参道に鎮座する山の神の例祭が十二月七日に齋行され、山林労働者の安全祈願神事が執り行われました。

今年、「株式会社十津川造林」様(大字平谷)のご寄進により、真新しい鳥居(神明型鳥居)が建立され、一層華々しい祭典となりました。

山の神は、一の鳥居から凡そ五百メートル、職員用駐車場から



約百メートルの参道にあります。参拝者が行き交う参道ですので、参拝者は暫し立ち止まり、社殿のない古代期を忍ばせる自然崇拝の奥深い式典に、興味津々の様子でした。

ご奉献賜りました「十津川造林」様には、厚い御礼と益々のご発展をお祈りいたします。

大日堂社開帳

毎月八日



毎月八日は、大日堂社のご開帳が行われます。この堂宇には、密教や修験道のご本尊であります大日如来がお祀りされています。そして、ご本尊像は金剛界・胎藏界の大日如来二尊が背中合わせに座している姿で表されています。

また、毎年八月八日には神職と山伏により大祭が斎行され、ご本尊のご開帳も行われます。

拝観は堂宇の外から可能となっておりますので、皆様のご参拝をお待ちしております。



神社のおはなし

神社本庁発行冊子より

お神札・お守り

お神札とお守りはどちらも神様のお力を戴くものですが、お神札は自分の家でお祀りし家をお守り戴き、お守りは常に身に付けて、いつも神様のご加護を戴くものとなります。当社の護符の携帯用は、後者のお守りと同じ意味を持ちます。お神札は一年間お祀りしたら年末に神社に納め、新しいお神札を受けます。お守りも同様ですが、願いが叶うまで身に付けても差し支えありません。

貳、狛犬



当社の狛犬は、本殿前の鳥居の前に置かれています。石製の一对の獅子型の像です。片方が口を開け、他方が口を閉じ「阿吽」のもので、口を開けている方が獅子、閉じている方が狛犬で合わせて「狛犬」と言います。邪気を祓い、神前を守護する役割を持っています。

参、御神木



境内にある注連縄を張り巡らし、柵などを設けた杉の大樹を御神木と言います。御神木とは神聖な樹木を意味し、神霊が宿るものと考えられています。当社は「神代杉」がその代表です。



護符「弓神楽」(ゆみかぐら)

熊野なる 玉置の宮の 弓神楽
弦音すれば 悪魔退く

当社の「弓神楽」は、男性が巫女の佩く赤い緋袴を着け、太鼓などに合わせて舞いながら弓を射りますが、これは、全国でも大変珍しく貴重な伝統文化です。

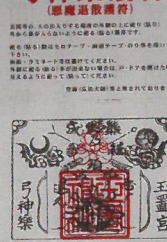
『弓神楽記』によれば、玉置権現が昔、白木の弓を以て荒神を射伏したのに始まり、白河天皇承保元年(一〇七四)行幸の際に、祈請のために奏せられました。

『玉置山縁起』の年中行事によれば、正月元旦・三月三日・五月五日・八月朔日・九月九日・同月二十四日の各祭典には、何れも弓神楽を奏して天下泰平・国家安全の御祈禱を勤めました。現在、十月二十四日の例祭・正月元旦・三月の初午祭のみとなりました。

右記の歌詞による歌舞と鳴弦によって悪魔・妖魔・邪鬼・邪霊・邪気等の退散払抵を祈ります。

また、当社の護符は、太陽・月・弓・矢・大日如来・金剛界・胎藏界・剣等を文様にしたものに、弘法大師空海の筆と伝わるこの歌詞が書いてある刷りものです。悪魔が退く程強烈なため、あらゆる願いに対して霊験が強いと言われています。

弓神楽護符



改修工事 進捗状況

県文化財保存事務所発行文書から

☆重要文化財 社務所及び台所

修理現場より

『鐘楼』

一昨年十一月に腐朽により柱が折れ、全体が傾斜したため解体されました。現在、解体した部材を一点ずつ実測しながらの整理が進められています。社務所の修理が完了して再度組立するまで、境内で保管する予定です。



『社務所・台所』

社務所及び台所は、来年度(四月以降)からの素屋根建設・解体に向けた準備を進めています。今期は、まず、修理前の現況を記録するため、プロの写真家に委託して内外観の写真撮影を行いました。大部分はデジタルカメラ撮影ですが、重要なカットは大判フィルムでも撮影しました。各部屋は、撮り漏らしがないように、後日、全天球(三六〇度)カメラでも撮影する予定です。



また、木々に隠れて見えない屋根面

の状況を確認するため、ドローンを用いた空中写真撮影も行いました。

今年度後半は、杉板戸のうち十八枚二十九面の彩色剥落止めを行う予定です。

☆新発見！

◎『六畳間 枇杷の絵の続き』

牡丹・唐獅子の間の南側にある居室(六畳間)の杉板戸に枇杷(びろう)の樹が描かれていたのですが、その続きの絵が隣の物入で見つかりました。

もともと板壁であった部分のうち半間幅を切り取り、物入の壁板に転用したようです。かなり煤けているので、切り取ったときには既に絵が分からなくなっていたのでしよう。



◎『三柱神社 牛王宝印の版木』

宮司居室の棚の上から、古い版木が見つかりました。二十五センチ角程度で菱形に使い、表には『牛王／三狐神／寶印』とあります。近世には、摂社三柱神社で同様の牛王宝印(ごおう

ほういん)が配られていた事が知られていますので、これもその一種でしょう。三狐神というのも、玉置山権現記の

「三狐神、所謂地狐、天狐、空狐也」との記載に一致しています。

かなりすり減っていますが、使用時期は不明です。



◎『金雲のある建具』

社務所地階から古い建具が見つかりました。下框(かまち)が失われており正確な高さは不明ですが、比較的小ぶりなものです。表に金雲が描かれています。裏は無地で引手もないので、押入や物入の戸であると思われる。社務所のどこかに嵌まっていたのでしようが、正確な場所は判明していません。

◎『水屋の原寸図』

参籠所東側の部屋の戸板の裏から、小さな建物の原寸図が見つかりました。原寸図とは、細かな納まりを確認するために大工さんが作成する実物大の図面です。確認したところ、境内の池の横にある水屋



と寸法がよく一致していました。昭和の中頃のものでしよう。

◎『大正頃？ 電話回線図』

六畳間に保管されていた戸板の裏から、不思議な墨書が見つかりました。人体図にも見えますが、正体は電話の回路図のようです。マイクにあたる部分に「送」、スピーカー部分に「受」の文字が見えます。



昭和三年には、受話器と送話器が一体となった所謂、黒電話が登場してきますので、それ以前、大正頃のものと思われる。取り付けに来た技師が書き残したメモ書きでしょうか。

☆これからの改修工事予定

◎〳三月

- 番付札打ち作業
- 鐘楼部材・畳移動
- 杉戸彩色剥落止め(第一期) 造作調査

◎四月〳八月頃

- 杉戸彩色剥落止め(第二期)

◎九月〳

- 素屋根建設工事

工事期間中、御参拝の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

『令和の大改修奉賛会』奉賛者一覽

敬称略(令和四年七月一日) 令和四年十一月末日

相澤尚良、青木巧吉郎、青木正枝、明石紀子、秋田千鶴子、浅田晃誉、吾妻由隆、足立浚一、阿部重光・宏子、天野雅仁、新井勝己、荒井範夫、新井日出子、荒武由佳、安藤大作、池内智恵、池内博一、池内良文、池田和也、池端せい子、池宮杉雄、石井和也、石川芳美、石倉督斗、石田裕子、石のかつら 岩崎弘司、石山智子、石山典子、泉誠郎、出雲大社教新宮教会 西泰史、伊勢康、磯部いく子、磯部好志、市川覚峯、伊藤一輝、伊藤キヨミ、伊藤幸由美、伊藤英則、伊藤昌幸、伊藤楨佑子、糸村沙織、稲岡亜里子、稲田榮作、稲葉哲哉、井上美樹、井上裕子、井上友香理、井上里江、井畑孝敏、猪原加代、伊原亮輔、イブキ整骨院 稲垣珠季、今枝圭司、今西奈那、今西久子、今西ゆかり、今村尚子、飯室和子、井本仁美、井本凌一、入江奈津代、岩井麗華、岩上晶胡、岩城夕希子、岩切龍虎・知恵子、岩佐憲一、岩垂貴美江、岩名宏治、岩道久美子、上坂俊彰、上田明子、上田裕江、上田祐子、植竹達也・美津子、上野照正、上野山正明、上村栄子、ウオーリン江利、後智行、宇陀裕弘、内田清、宇仁美那子、梅澤和雅、蛭谷康一、江見友佑、江本やよい、大川晃一、大川隆幸、大島のぞみ、太田和徳、太田祐司、大瀧志、大谷千泉、大冢章子、大塚泉、大西勝善、大西平治朗、大野桂、大山静香、岡崎光子、岡田和也、岡田重信、岡田智彦・美恵、岡田宏美、岡田美紀、岡西理量、岡部道輝、岡部みどり、岡本洋基、岡本雅喜、小川昭夫、小川敦士、小川恵子、小川祐也、沖二倫子、奥田健太郎、奥田進康、大久畑由美子、小倉弘人、小倉玲子、尾崎佳代子、尾崎晋一、小澤秀治、織田正治、小田部安良、

尾畑幸子、親松美香、恩地清人、(株)Earth&Universe 神護龍、

(株)印南石油店 門脇泰憲、(株)エルライフ 松本淳一、(株)角徳コー

ポレーション 板野元彦、(株)川合組 川合啓介、(株)建匠 小佐野豊隆、

(株)コウセイ 永野光世、(株)合同住宅、(株)山薬 要正子、(株)秀拓

米原恭淳、(株)トータルフロア 鈴木賢志、(株)MUKI、(株)ハーモニ

ー 松下正行、(株)八陽 岡野陽子、(株)花井商店 花井利博、(株)プロ

スタップライン 八尾哲也、(株)みらい創生社 加藤恭太郎、(株)MON

DS、(株)ライフクリエイト 工島辰公、海雲あつたか、貝瀬愛美、

垣内康志、垣淵充洋、垣本博雄、角馬啓一、笠井俊則、梶山江美、

柏俊行、片山敦詞、桂美津子、加藤幸司・文子、加藤妙子、加藤保、

金澤正和・美枝子、金子是久、上東道男、亀井農園 亀井康伸、加茂知生、

川井徠美心、河合利枝、川上町子、川口江美子、川口純子、川口浩哉、

川崎克子、川崎千寿子、川副実、川田敬一、川西千恵、河村うらら、

川村圭助、河本央、川原田由起・真由、神田義顯、菊池純一、木栗恒博、

岸一彦、貴志壽夫・智津、岸本操、北川隆明、北谷将之、北野恵美、

城戸勇、紀平昌輝、木村くみ子、木村信二、木村忠弘・祐子、木村洋子、

久貝貴咲、草替千恵、串崎忠夫、久志田誠・栄子、工島誠瑚、工島芽穂、

葛川善久、久住義憲、工藤優茄、工藤友華、國松孝守、久野英敏、

久保量裕、久保井里江、久保田朝賀、久保田あすか、久保田敏裕、

久保田康裕、熊澤美和子、黒木智代、黒木靖子、黒崎敏江、黒住博章、

黒瀬初美、現代健康研究所 高橋富男、五井信興、小家純子、小池貢弥、

高坂佳輝、神戸リッコロツ 上田、古賀桂、小金丸紀子、小金丸美智子、

小切間泰彦、越田智佳子、小島和成、小島玲子・紗織、小杉正佳、

後藤慎治・睦子、後藤美佐子、小西康夫、小濱隆文、小林明美、

小林晃樹、小林普妙、小堀昇市、小堀輝美、駒形恵子、駒谷喜代俊、

駒谷眞理子、小山恭子、小山正和、小山元希、近藤順子、近藤文哉、

近藤義人、(株)西郷英治、齊藤愛、齊藤花苗、齊藤洋子、

齋藤友併、齋藤義人、酒井恭子、酒井浩一、酒井久恵、阪口明、

坂下清和、坂根智子、坂本由美、佐久間千代美、佐々木寿久、笹平明子、佐藤桂匡、佐藤智子、佐藤のり子、佐藤正典、佐藤雄喜、澤井恵美子、澤田雄子、C・スターヒラノ、平野英之、枝園和幸、塩路鐵砲水、志方寛、紫魂、篠木久美子、篠木豊、柴沢晃、嶋田幸、島村佳宏、嶋本忠芳、清水呉・朋子、清水直美、清水昌樹、志水靖夫、清水良男、下市育子、下地信男、下野尻貴史、下山結未、首藤由紀子、菖蒲りか子、白井美保、城林美苗、新坂寿子、杉内映子、杉岡卓也、杉田恵美子、杉田卓也、杉本貴子、杉本千春、杉山幸子、杉山サトウキチヨ、杉山太士、杉山範子、スコレーバレエアクト(同)、鈴木恵美子、鈴木豪、鈴木崇照、鈴木環、鈴木束紗、鈴木信男、鈴木寿江、鈴木美江、鈴木良穂、須田昌弘、税理士法人セ ルポ・クレール、関岡歩、妹尾志名、仙頭栄美、柚正、

(多)大黒裕二、大上貴司、高尾直美、高岡栄一、高垣昌子、高木裕介、高儀武、高嶋晋一郎、高田真治、高橋史江、高橋昌弘、高橋安美、高橋れい子、高山百合子、田川英昭・有美、滝川寛朗、滝口健、田口康平、竹内芳、竹内一暎、竹内真介、竹内利幸、竹田和正、武田賢治、竹田正人・恭子、武臣早苗、竹中規子、竹村佳子、竹本里子、田澤俊広、田島重光、田近陽、辰巳明、建内晋策、田中朱己、田中清美、田中康司、田中千恵、田中尚子、田中久雄、田中久喜、田中光枝、田中元子、田中利奈、田鍋敦子、田辺和子、谷栄子、谷眞美、谷上隆、谷口正三、谷口智一、谷本味根子、田花操、田淵博重、玉井紀美子、玉置修、玉置邦夫、玉置久美子、玉置俊治、玉置登、玉置正澄、玉置晏規、玉置雄祐、玉置幸郎、玉置行文、たまむすび碓乃羽弥音、田本きみ、丹次康和、千葉範子、千葉泰弘、塚隆司、塚本美紀、辻栄一郎、辻上文乃、辻本美穂、津田操、土貴奈叶雨、土田浩司、土田満穂、土戸信男、土屋早紀子、都築貴子、堤武志、津禰鹿裕晃、角田洋平、椿原正紹、手嶋孔紀、電針堂 赤尾宏子、徳重亜喜代、NPO 法人 GLOBAL BOARD 大畑仁、

志の 法人 どんぐりモンゴリ 角和保明、戸崎紀代子、戸田秀明、土手守、土肥利行、富田耕二、富田守、富田安広、富永美穂、富山佐知子、友淵博貴、豊田昌彦、瀬峡めぐり川舟観光かわせみ、瀬木テル、(七)中隆村、中龍雄、中文男、中井信治・晴子、中井千晴、中裏典男、仲川加珠美、仲川昌彦、中澤輝彦、長澤陽一、中島玉恵、中島千知、永島光将、中筋建設(株)・H・G・H・G、中田龍太郎、仲谷和彦、中野智文・啓子、中野優子、長野利加、中原洋子、中村亜弓美、中村健太郎、中村健光、中村麻希、中村有紀子、永山恵智子、那須宏伸、那須幹男、成田暢行、成山育子、新見芳弘、西定信、西浦壽一、西尾明、西尾公雄、西川憲明、西崎富士子、西田昌彦、仁科眞規子・昌憲、西野一弘、西村佐代子、西村大輔、乳井隆直・亜貴絵、丹羽康子、丹羽保信、根笹芳郎、根本由美子、能勢智朗、野田由美、野田誠、信川雅洋、野本茂、則本芳和、

(ハ)萩原辰男、羽崎貴子、橋口聡、橋本幸伸、長谷川邦夫、長谷川裕三、長谷部覚美、畑中一映、波多野睦人、波多野ミコ、波多野充信、初井政澄、花岡正廣、羽根昭、浜辺文治、早崎明、早崎育代、速水めぐみ、原万里子、原由子、春山明日香、坂東弘三・和子、番場智之、東嶋法男、氷川千津、引地正、久永扶季子、平井司、平木覚治、平田真希、平原佳子、平山香、平山セツ子、平山紘子、平山涼子、蛭田彰恵、広垣幸修、ヒロトレーディング 谷畑浩・メリメロフルーツ、深瀬健三、深瀬十代、深谷英聖、福井一希、絵梨香、福井孝子、福井芳之、福田幸代、福久谷十縦、福永幸子、福本麻奈美、福森崇文、藤井千夏子、藤井寛美、藤田小夜子、藤田竜三、藤田千恵子、藤田雅也、藤平涼子、藤森勇、舟生育男、武馬保美、古市佳之、古川仁志、古久保博彦・法子、古牧商店古牧忠夫、鳳隆建設(株) 佐々岡均、ホープアンドハツピー 小山敦美、穂苅政幸、星野ちなみ、細川浩一、細川小八郎、細川節代、細川典男、細川益宏、堀富美代、ホリスティック・スペース・ジャパン ステイ(株)・要智子、本間靖子、

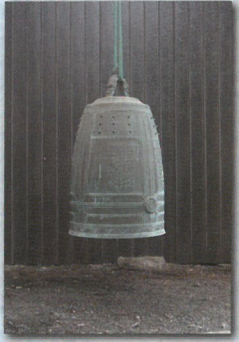
一般奉賛者一覽

敬称略(令和四年七月一日〜令和四年十一月末日)

(マ) マイム(株) 佐藤祐彰、前田章博、前田惠美、前田惠美、前田桂子、前田圭三、前田浩昭、前田陽一郎、牧野克美、馬籠祐貴、正木彩子、正木源也、増井一恵、増田和予、増田祐紀江、増本吉伸、町島伊織、松井俊幸、松井弘子、松岡秀尚、松岡宏和、松岡正人、松岡由香、松木衣絵、忝倉正春、松下玄、松原克羅、松村博志、松本清子、松本淳一、松本知代、松本昌子、松本三幸、松谷陽子、マリエルハワイ、三浦一恵、三木由子、三嶋幸子、水間翔平、光本文夫、南佐知、南多恵子、南出良子、三舩里恵子、宮井牧子、三宅治、宮崎孝明、宮崎義浩、宮田昌代、宮田禎則、宮根かをる、宮本功子、向井慎治、向井喜之、村井久容、村井壽代、村石久典、村上範義、村上正文、村田美佐緒、牟禮清美、Eelder's 壇 廣田 麻須実、森直紀、森大典、森啓行、森充恵、森祐水、森澤功、森田佳祐、森田幸生、森本尋子、森本利恵、(ヤ) 谷上眞咲樹、矢崎雅美、安井悦子、安田倫子、安田正子、安田優治、八岩正浩、柳瀬興業 古谷宏、八幡華、山縣泰雄、山門祐典、山川貴子、山口正春、洋子、山口雄司、山崎和子、山崎和宏、山崎俊哉・尚子、山崎尚子、山崎幸義、山下雅恵、山下みゆき、山下祐子、山田栄作、山田章生、山出美子、山中一晃、山中富士夫、山中由季子、山根章子、山邊両介、山村彰、山本和久、山本勝実、山本正浩、山本百合子、山脇めぐみ、(有) 山正 山口正春、(有) 中條製作所 中條貴夫、(有) ホームアート 木村剛、(有) 御宿工業所 杉山暁彦、湯澤徳章、湯谷登來男、横井規子、横塚みつ、横山康宏、横山洋一、吉井照雄、吉川和博、吉川英子、吉崎光行・恵子、義本一治、吉本成伸、吉本美紀子、米原祥雅、依田亜弥子、(ラ) 李榮喜、(ワ) 若山喜代子、鷺尾隆元、和田雄吾、和田吉史、渡部小百合、綿野俊明、わらじ道の会 小黒靖彦、

(ア) 秋山映江、浅田悦弘、足立靖、荒木義喜、栗野祐子、安東由貴、池敦子、池本彩如、石川満帆、石古貴士、石のかつら 岩崎弘司、井須かをる、市川利江、井上板金 井上征明、今西優三、上江正孝、植田屋旅館、上野山さゆり、内水規佐子、梅木春興、浦島觀光ホテル(株) 成田安弘、永和建設 山本泰永、江崎三基、NKGINフオテック(株) 中垣浩一、ゑびす荘 玉置晋也、大字 桑畑、大井史朗、大井由喜子、大工隆司、岡修、岡不動産 岡知行、岡やす子、岡崎宗子、小笠原幸子、岡本卓・友香、オキシリンク(株) 樋口昭紀、尾崎静代、尾中修、尾中宏彰、小俣裕一、(カ) (株) エム・シー富士 松井英樹、(株) ケイ・ツー ネットワーク 栗野兼信、(株) 太紀企画 倉前太、(株) TMS AUTOMOTIVE 仲川朋秀、(株) Bespoke Professionals 大内宏貴、(株) 和昇 遠藤和尊、海部剛史、抱祥一郎、垣本博雄、角和保明、柏木美代、加納昌依、上下興業(有) 上下勝規、神野耕一、神湯荘 深瀬雅志、假家英明、川崎浩、川崎めぐみ、川村優理、北浦康雄、北川博美、北國英一、北見武男、北村博子、岐阜スプリング(株) 林眞理子、葛川善久、楠雅代、工藤よし江、國吉利弘・裕子、黒住哲也、黒田将由、小網嘉則、古賀博英、小坂篤司、越田光重、越水泰行、古都音(株) 福田彩乃、小林普妙、小守谷敏生、金剛峯寺東南院合同奥駟会、近藤順子、(セ) 雑賀定次、材津裕治郎、幸次郎、佐古金一、佐藤のり子、佐野弘美、佐野征子、更谷孝澄、山学道 立石光正、椎原雅美、塩見直也、志田美子、島田拓美、島田信洋、白井幸次、須川輝一、頭師詮子、頭師浩正、鈴木玄耀、鈴木まゆ子、瀬古伸廣、千賀珠希、(タ) 大日會 吉村隆幸、田上裕弘、高垣昌子、高木美和子、高辻美知子、高橋秀明、高橋智恵、高橋照子、高橋滉大、高山紀子、瀧川隆士、瀧川陽子、滝口洋子、田口勝、

竹田しづ乃、辰巳雅朗、たつみ糖尿病内科クリニック 辰巳晴規、田中秀樹、谷井康人、谷口けい子、田花館 田花敏郎、玉置公三、玉置サト子、玉置順一、玉置美好、田本きみ、辻村啓之、辻村由佳、土田結以、土屋直明、露の都、寺内香織、電針堂赤尾宏子、戸田秀明、栃谷英樹、十津川村観光協会 田花敏郎、刀禰晴彦、富山弘子、〔チ〕中精一、仲正人、中昌永、中尾智、中坂光博、中島憲作・勝子、長島さやか、中島典子、中西康昌、中西祥夫、中満珠央、中村俊雄、中山美穂、新倉和子、西内貴俊・陽美、西久保匡志、西田晃幸、西野雅子、温井貴誠、念法眞教総本山金剛寺 樋屋良祐、野口久仁子、野口祥子、野村直佑、〔ク〕萩原伊紀子、橋本薫、畑辰商店畑井宏彦、濱中宏介、原栄希、原田万左江、東勉、久常耕司、日野恒和・千恵子、平石幸子、平野博之、平野文恵、深谷真由美、社会福祉法人こだまの会 こだまの里 中村仁紀、福本真理、福屋利久 上北俊久、藤澤豊、藤本貴也、藤本裕美、富士よしの(株)藤ノ原繁昭、藤原まゆみ、法徳堂山本陽子、朴澤大輔、堀隆、本部真吾、本部めぐみ、〔マ〕前川輝章、前田晴美、前田英幸、前田正伸、馬籠祐貴、増谷周三、松葉操、松實豊繁、松村哲、松村禎二、三木康弘、南武雄、峯廻寛、宮本輝紀、宮本雅之、宮本善弘・榮、三好元子、むさし旅館 今中勉、村田和正、村田充男、村田佳子、森孝弘、森多美子、森泰幸、森下かね子、〔ヤ〕保井克允、安田愛子、山口泰、山下藍子、山田かおり、山田祥、山本一隆、山本一元、山本智恵美、山本敏也、山本昌子、山谷禎雅、(有)ファーストブルー 荒澤佑侍、吉川裕子、吉田エリ、〔ウ〕和木邦子、渡口泰子、



《梵鐘》
国指定有形重要文化財

社務日誌より

令和四年

七・一九 会計監査

七・二一 大峯東南院一行合同奥駈修行 (二十一人)

七・二三 新十津川町議員一行正式参拝 (二十四人)

七・二六 責任役員及び氏子総代(二人) 参道整備

八・八 大日堂例祭

八・二〇 新十津川熊田町長一行正式参拝 (五人)

九・六 石垣整備準備委員会(役場三階) 社務所及び台所保存修理事業工程説明会 (神社側 外宮宮司外三人、県側 中田 豆越、落合)

九・一五 真名井社竣工祭

九・一六 立命館大学田中教授外六人、社務所3D測量に来社

九・二三 出雲大社玉置教会祖霊祭

九・三 宮司及び丸田責任役員、氏子総代推薦依頼の各区長挨拶廻り(至四日)

十・十 光の舞音奉納演奏(地引知子外九人) 会計監査

十・十八 献湯祭及び注連繩奉獻

十・十九 (十津川村観光協会)

十・二一 中山美穂・菊池美和ボランティア活動(参道の紙垂取替)

十・二三 藤井章嗣ボランティア活動 (玉串造り外)

十・二四 玉置神社例祭

十・二七 クリスタルボールと舞奉納演奏 (山口泰外一人)

十一・二 十津川中学生一年生秋の校外学習

十一・六 株式会社秀拓米原様一行正式参拝 (二十七人)

十一・七 十津川村消防団 防災施設点検

十一・八 (衛現代健康研究所高橋様一行 正式参拝(二人))

十一・二十 氏子総代会開催 責任役員選任 (丸田・宮村・玉置再任)

十一・二二 十津川第一小学校秋の遠足 (全五十三人)

十一・二三 新嘗祭

十一・二八 奈良県とのヒアリング

宮司参会(橿原考古学研究所) (編集の都合上、十一月末まで)

編集後記

「空気が変わります。」と参拝者が話してくれます。雲海と青空が同時に窥え、そのうえ海まで望める天空の聖地と言えます。あの役者は生きたまま仏になるという即身成仏をこの地に求めました。晴れた表情で感謝と願いを込めて手を合わせる参拝者の気持ちが手に取るように伝わってきます。

さて、奈良県では、小学生の体力向上を目指し「市町村対抗子ども駅伝大会」を三月に開催しています。出場を希望する小学生が、中学校で練習に励みます。今回は十八回大会ですが、十津川村代表は、過去五回、村の部優勝を飾っています。今回も良い成績が収めますようにと、本殿にそつと手を合わせている小生です。